

令和元年度第2回大野城市子どもに最適な学期制審議会会議録

- 期 日 令和元年9月26日(木)
- 時 間 午前10時00分～11時45分
- 会 場 大野城市役所新館4階426会議室
- 出席者 審議会委員：出席13、欠席2
事務局（梶指導室長、藤田総括指導主事、西岡係長）

1. 開会

傍聴者なし

2. 委員長挨拶

3. 事務局説明

- 「子どもにとって最適な学期制アンケート」結果について
 - ・回収数 2,317人（保護者：1,748人、地域：153人、教職員：416人）
 - ・回答内容については、別添「アンケート集計データ」参照

4. 審議

(1) アンケート結果についての質疑・意見・感想

【主な意見等】

- ・2学期制になれば、授業時数は確保できるのか。
 - ・学校の教職員は、小・中学校共に多くが2学期制を希望している。
 - ・(2学期制になり)先生たちに余裕ができれば、子どもに還元されるのではないか。
 - ・3学期制でも、2学期制のメリットの部分(授業時間の確保等)への取り組みができないか、検討する必要がある。
 - ・2学期制になったからといって、すべてが解決するとは限らない。先生たちにゆとりをもって子どもに対応してもらえるよう考えて行くべき。
 - ・小学校と中学校では、進路に関する事など状況が異なるため、2学期制と3学期制を併用することも検討すべきではないか。
 - ・通知表(評価)は、多いほうがいい。だから3学期制が望ましい。社会体育でも指導の参考にしている。3学期制の中でも無駄を省くことができるのではないか。
 - ・2学期制から3学期制に戻したところの理由を知りたい。
- ※今回の意見等を踏まえ、次回、審議を継続していく。

5. 連絡

(1) 子どもに最適な審議会 次回の日程

- 第3回審議会：10月23日(水)10:00～ 大野城市役所新館4階426会議室

6. 閉会